

バイオ、メディア、コンピュータサイエンス分野の産官学共同研究を推進します。

東京工科大学片柳研究所は産官学のコラボレーションを基本に、21世紀社会に貢献する多彩な研究活動を支援・推進する施設です。電界放出形透過電子顕微鏡をはじめ最新鋭の研究設備を有する研究所では、既にさまざまな民間企業や公的研究機関との共同プロジェクトが推進されています。今後は、さらに幅広い学外研究者との連携を実現し、自由でオープンな21世紀型の知の創造拠点をめざします。

片柳研究所	バイオ分野	バイオナノテクセンター
	メディア分野	コンテンツテクノロジーセンター
	コンピュータ分野	クラウドサービスセンター コンピュータサイエンスリサーチセンター



八王子キャンパス内「片柳研究所」

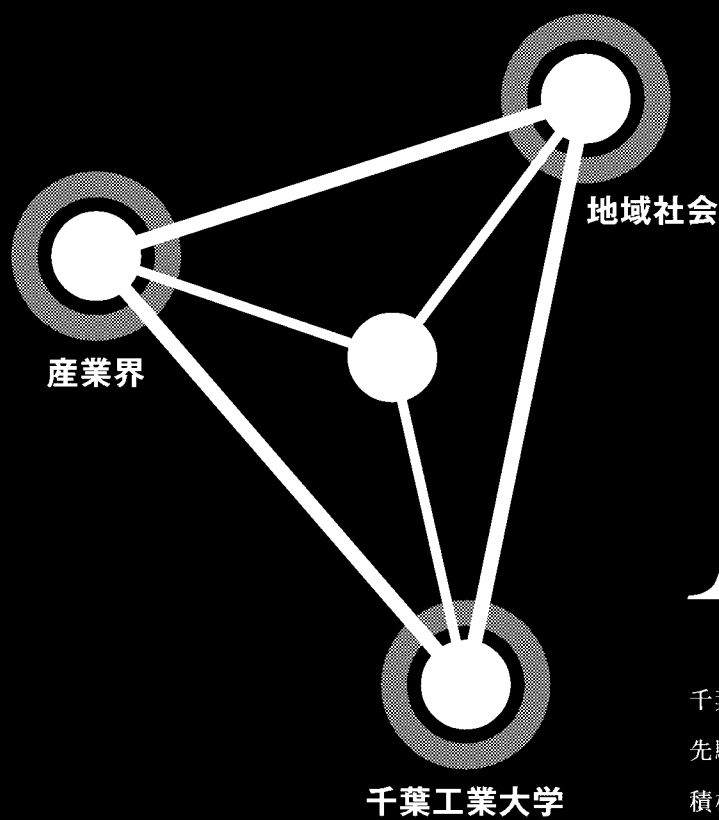


東京工科大学

【八王子キャンパス】 ■バイオ・情報メディア研究科
バイオニクス専攻 コンピュータサイエンス専攻 メディアサイエンス専攻 アントレプレナー専攻
■メディア学部 ■コンピュータサイエンス学部 ■応用生物学部
〒192-0982 東京都八王子市片倉町1404-1 TEL.042-637-2111(代)

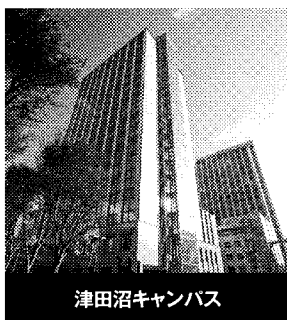
【蒲田キャンパス】 ■デザイン学部 ■医療保健学部 看護学科 臨床工学科 理学療法学科 作業療法学科
〒144-8535 東京都大田区西蒲田5-23-22 TEL.03-6424-2111(代)

【お問い合わせ】 ●研究協力課 TEL.042-637-1163(直) E-mail rsc@so.teu.ac.jp PC <http://www.teu.ac.jp/>

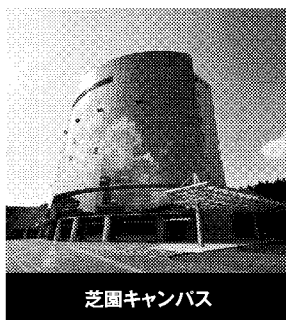


P Progress

千葉工業大学は現在のニーズに応え、
先駆的な役割を果たすために、産業界・地域社会と
積極的に交流を深めることを目指しております。



津田沼キャンパス



芝園キャンパス



東京スカイツリータウン®
キャンパス

工学部	機械サイエンス学科 / 電気電子情報工学科 生命環境科学科 / 建築都市環境学科 デザイン科学科 / 未来ロボティクス学科
情報科学部	情報工学科 / 情報ネットワーク学科
社会システム科学部	経営情報科学科 / プロジェクトマネジメント学科 金融・経営リスク科学科
大学院	工学研究科 / 情報科学研究科 / 社会システム科学研究科

千葉工業大学

【問合せ先】 産官学融合課 TEL.047-478-0325

産学連携を推進
人材育成に注力

大学

〈順不同〉

神奈川大学

神奈川大学は神奈川県が行う「2012年度大学発・政策提案制度」で採択された提案「新たなビジネスチャンスを生み出す中小企業のためのリチウム二次電池オープンラボ」のオープンラボを、13年4月に開設する。開設に伴い、13年2月上旬から参加する企業の募集を始める。

オープンラボ活用の入り口として、応募企業に対し講習会と技術相談を実施する。そこで一定の選定をした上で、有望な技術は1カ月をめぐり個別の技術実習、また、実用化が見込まれるレベルの高い技術は最長1年の性能試験を行う。指導はプロジェクトの責任者である工学部物質生命化学科の松本太准教授らが担当する。初年度は技術実習を10社程度、性能試験を23社とし、13年度からの2カ年度で一定の成果を出すことを目標とする。

東京工科大学

東京工科大学は最新鋭の研究設備を有する「片柳研究所」を設置し、産官学連携による研究開発を推進している。特に、バイオ技術や情報通信技術、コンテンツ制作技術の研究プロジェクトを推進しており、学部生や大学院生もリサーチアシスタントとして参加。世界トップレベルの研究成果を惜みなく社会や教育に還元するとともに、次世代をリードする質の高い人材育成を可能としている。

また、2010年には蒲田キャンパスにデザイン学部と医療保健学部(看護学科・臨床工学科・理学療法学科・作業療法学科)を設置し、八王子キャンパスのメディア学部、コンピュータサイエンス学部、応用生物学部、バイオ・情報メディア研究科(大学院)と合わせて総合的な研究環境を整えた。

東洋大学

東洋大学の川越キャンパスは、2009年度より理工学部と総合情報学部として新たにスタートした。理工学部では「企業における実践力の養成」を旗印に、新設の生体医工学部など6学科に加え、副専攻の3コース(バイオ・ナノサイエンス融合、ロボティクス、地域学)を用意。総合情報学部では「システム技術のみならずITが利用される環境を総合的に学ぶ」ことを目指す。

発足から4年目を迎える産学協同教育センターでは現代GDPで培った人材育成事業を継承し地元中小企業向けの技術講座を提供。また、経済産業省からの委託事業で技術系学生向け社会人心得「社会人カノート」を作成し、モノづくりを志す人の「望ましい行動規範」を解説するなど、「企業・学生」双方に向けた教育活動を展開する。

千葉工業大学

千葉工業大学は工業大学の特色を生かした産官学連携に積極的に取り組んでいる。従来、企業の多岐多様な技術相談や国によるプロジェクトなどに対して、研究者を選定し、紹介してきた。2011年には千葉銀行と産学連携に関わる包括協定を締結し、県内企業からの技術相談や受託研究、人材の育成と交流、学術情報の交換など学連携を行っている。また、今年度は千

葉県と協力し、学生がデザインした地元特産品の食品容器のデザイン18点を百貨店で展示、6点は商品化、販売されるなど、地域産業の活性化に貢献した。

新潟工科大学

新潟工科大学は「原点に帰った実務教育により優秀な技術者を県内外に輩出できる場を自らの手で作りたい」という新潟県内の多くの企業や、新潟県をはじめとする自治体の強い思いによって、1995年に開学した。これらの支援企業は、大学開学後に「新潟工科大学産学交流会」として組織され、現在は226社が就職支援やインターンシップ(職業実習)の受け入れなど、実務教育の推進に

おいて同学を強力にバックアップしている。さらに今年度は、地域のモノづくり技術の高度化と地域産業の再生を目指して、高性能シミュレーション技術を身に付けた、モノづくりの高効率・高品質・高信頼化に貢献できる人材の育成を目的とした事業が評価され、文部科学省の「私立大学教育研究活性化設備整備事業」の採択を受けた。

長岡技術科学大学

長岡技術科学大学は学部4年生のほぼ全員に、2・3学期の約5カ月間にわたる国内外の企業での実務訓練(長期インターンシップ)を課している。学生は工業技術の現場を体験し、指導の技術者として必要となる人間性を学び、実践的技術感覚を体得して、実践的技術をさらに創造的に展開する素地を作り、大学院に進学する。大学院では院生の技術科学すな

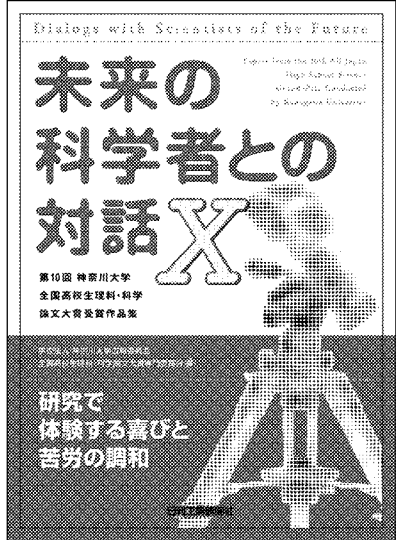
東京電機大学

東京電機大学は10月、研究推進社会連携センターを設置した。総合研究所・研究推進部・産官学交流センターらが一体化した組織として、研究開発の積極推進を図る。特に研究チーム・研究計画の策定から技術移転まで、研究プロジェクトのマネジメントに務める。2011年12月には、地元足立区の事業補助金を受け、技術移転による事業化・起業促進のため

好評! 日刊工業新聞社の本

研究で体験する喜びと苦勞の調和

未来の科学者との対話 X



第10回 神奈川大学
全国高校生理科・科学
論文大賞受賞作品集

学校法人 神奈川大学広報委員会
全国高校生理科・科学論文大賞専門委員会編
●A5判 ●定価1680円(税込)

神奈川大学が理科教育を支援する試みとして実施している「全国高校生理科・科学論文大賞」(審査委員長:長倉三郎)の第10回受賞作品集。大賞1編、優秀賞3編、努力賞15編を収録。高校生たちが研究で体験した苦勞と喜びがあふれる作品集となっている。

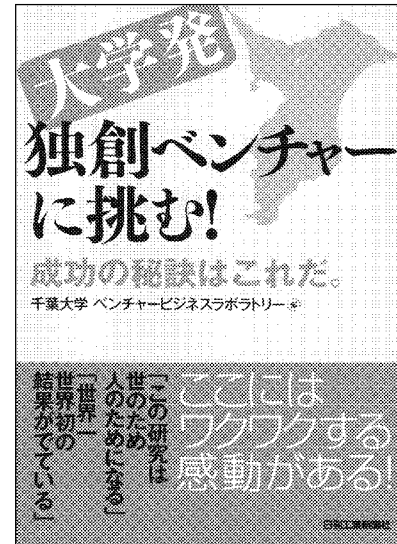
縮小社会への道

原発も経済成長もいらない幸福な社会を目指して

大学発

独創ベンチャーに挑む!

成功の秘訣はこれだ。



千葉大学ベンチャービジネスラボラトリー編
●A5判 ●定価2100円(税込)

大学の研究成果を実際のビジネスに結びつける試みはなかなか上手くいっていない。この本では、千葉大での研究開発活動を、ベンチャービジネスに結びつけつつある3人の研究者を取り上げ、その研究内容、アイデアの源泉、研究方法、環境の作り方など、背景から深く紹介することで、成功するための大学発ベンチャーの秘訣をさぐる。

松久 寛編著 ●四六判 ●定価1,680円(税込)

経済成長への執着を捨てない限り、社会の破滅は免れない。本書では、縮小社会という理念を、社会システムおよび経済活動のスタイルとして確立し、経済活動や技術開発活動などにおいて支援、実現する道筋を論じる。「原発も経済成長もいらない幸福な社会を目指そう。」

あなたの仕事に役立つ
理工学書・ビジネス書・技術雑誌
専門オンラインショップ **Nikkan Book Store**
<http://pub.nikkan.co.jp/>

◎ご注文は書店または添付FAX申込書で
弊社出版局販売・管理部までお申し込み下さい。

日刊工業新聞社
●本社出版局 〒103-8548 東京都中央区日本橋小網町14-1
販売・管理部 ☎03(5644)7410 FAX03(5644)7400

FAX申込書

お申し込みの際、複写(コピー)されたものをFAXされますようお願い致します。
※弊社にお申し込みの方は送料を無料とさせていただきます。

〒		
ご住所:		
TEL:		
FAX:		
会社名:		
部署:		
注文者名:		
日刊工業新聞社 発行	冊数	金額
未来の科学者との対話 X		
大学発 独創ベンチャーに挑む!		
縮小社会への道		
合計		